

○佐瑠女神社授与品

- ・御神符（おふだ）・・・神棚もしくは柱や壁に飾り 天宇受売命の御神徳を頂きます
- ・縁結び御守 ・・・人と人 人と物など様々な良いご縁を結びます
- ・芸能御守 ・・・芸能芸術の上達成功を導きます

授与品の郵送を承ります

お申込みはお電話・ファックス・お手紙・電子メールにてお申込み下さい

○恒例祭典

◆例 祭

年に一度の大祭 諸芸上達や良縁を祈り全国から提灯が奉納される
宵祭では提灯三千灯に明かりが灯り境内を彩ります

〔献灯のお申込みは猿田彦神社 祭務係 まで〕

- ◆月次祭 八月十七日（宵祭） 午後五時半 八月十八日 午前十一時
毎月二十一日 午前十時

猿田彦神社社務所

〒516-0026 三重県伊勢市宇治浦田二一ー一〇
電話 (〇五九六) 二二ー二五五四
FAX (〇五九六) 二八ー九九五五
URL <http://www.sarutahikojinja.or.jp/>
Eメール info@sarutahikojinja.or.jp



猿田彦神社境内社

さ る め

佐瑠女神社御由緒

佐瑠女神社 御祭神 天宇受売命（あめのうずめのみこと）

猿田彦神社の境内社で 御本殿に向かい合うように鎮座しています

天宇受売命は猿田彦大神ときわめて関係の深い神様で 御崇敬の方々より「さるめさん」と呼び親しまれています

○何故「さるめ神社」というのか

天孫瓊瓊杵尊が天上の高天原から日向の高千穂へ降られる道中、最も険しいとされる難所（にぎのみこと）「あめのやちまた」で猿田彦大神が天孫を迎えた時のこと、猿田彦大神のお姿に多くの男神が恐れて近づけなかったのを天宇受売命が仲を取り持ちました。この御縁から天宇受売命は瓊瓊杵尊より「さるめの君」の名を賜りました。御社名はこれに由来します。

○縁を結ぶ神

天孫降臨にあたり天津神（天上の神様）と国津神（地上の神様）との間を取り持った御神績により男女の縁に限らず、人と人、仕事や物との様々な縁を良い形で結び導く良縁の神様として崇敬されます。

○芸能の祖神

神話によると、天照大御神が天岩屋の中に入られ、世の中が荒れ暗闇のようになった時に天宇受売命が岩戸の前で舞踊され、神々が喜び賑わう様子を不思議に思われた天照大御神が岩戸を開けて外に出られ元の平和な世の中になりました。

このことから俳優（わざおぎ）の神として技芸、技術の上達を導く芸能の祖神として崇敬され、音楽関係・芸能関係者をはじめ、様々な習い事の上達・成功を祈る参拝者が全国から絶えません。

○鎮魂の元祖

天宇受売命は鎮魂振魂（たましずめ・ふりたま）の神として称えられます
「たましずめ」とは高ぶる心を鎮め落ち着かせ、穏やかで素直な心の人である様にする事。
「ふりたま」とは眠っている力を呼び覚まし、活力あふれる若々しい活動の出来る人である様にする事。

○美女の代表

天宇受売命は元気でおおらかな女性の鏡とされて来ました。
生涯の美しさを求める女性にとつては勿論ですがあらゆることから自立し、誇りを持って自ら生きようとする人にとって極めて大切な神様であります。